





# 塗り始める前に

塗り絵の塗り方や画材など、  
塗り絵の基本をご紹介します。

## 基本の塗り方



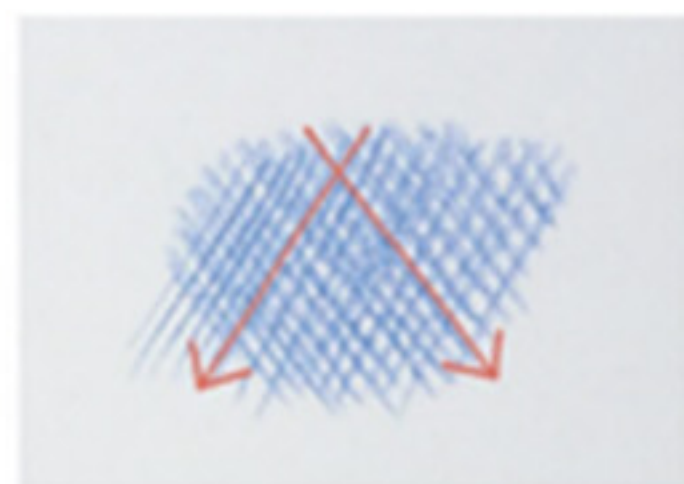
### 平塗り

広い面を均一に塗る時に。色鉛筆の芯を寝かせて、一定の筆圧で塗ります。基本的には弱い筆圧で塗り、色が薄い場合は重ねて塗るのがおすすめ。



### ハッチング

色鉛筆の芯を立てて線を描くように塗っていく方法。直線以外にも丸みを出したい時は丸く描くと立体感を表現できます。また猫の毛並みにも使う方法です。



### クロスハッチング

ハッチングの線を縦横斜めにクロスさせて、立体感をつける方法。クロスさせる線を多くすると「暗いところ」を、少なくすると「明るいところ」を表現できます。

基本の  
塗り方が  
わかる

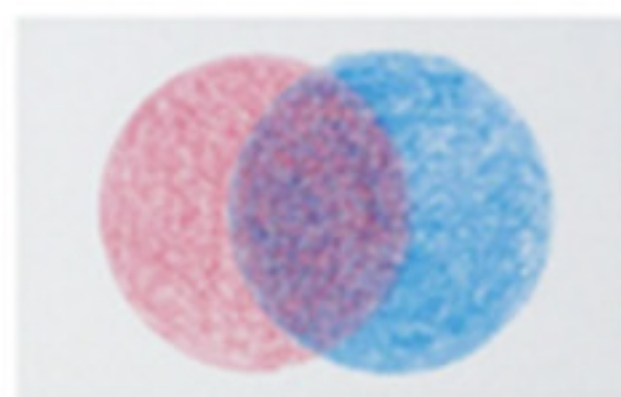


## 混色とグラデーション

知っているのと、より塗り絵に深みが増すテクニックです。

### 混色

色鉛筆を重ねて塗ることで色を混ぜられます。色鉛筆の色が足りない時にも使えるテクニックです。どちらの色を先に塗るかで混色した色が違ってきます。



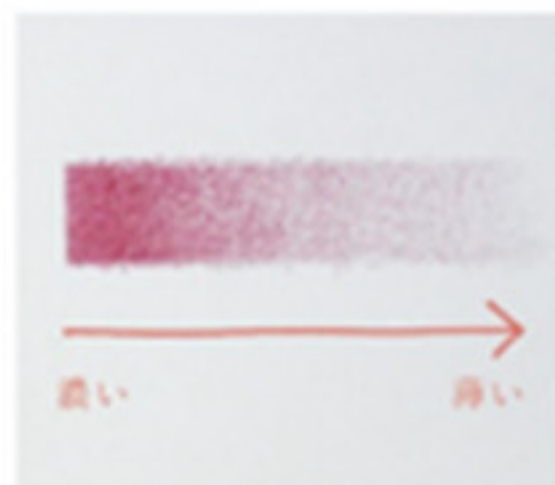
ピンクが先、  
ブルーが後  
の場合



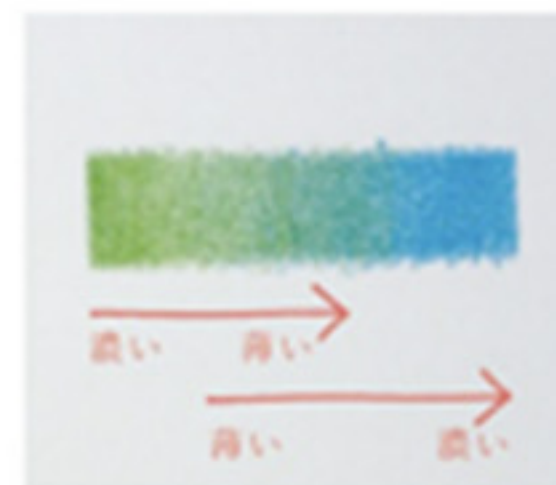
ブルーが先、  
ピンクが後  
の場合

### グラデーション

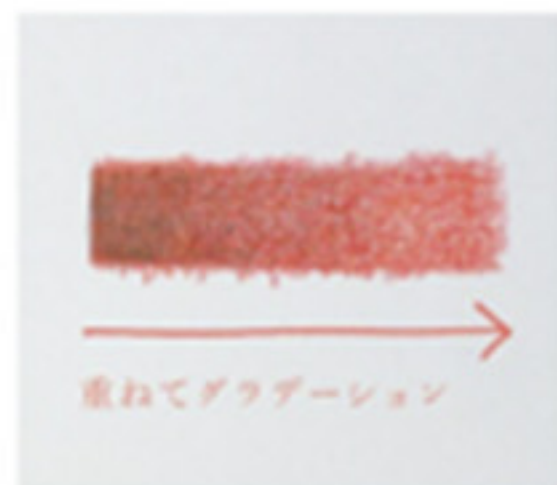
塗り絵を立体的に見せたい時のテクニック。髪や服のしわ、お花の色味などで使えます。塗り方は色鉛筆を倒して、徐々に筆圧を弱めるように塗っていきます。1色でグラデーションをつけたり、2色以上でグラデーションにしたりいろいろな方法があります。



1色を筆圧だけで「濃い」から「薄い」へと塗る基本のグラデーション。



2色以上を混ぜるグラデーション。「薄い」ところで色を混ぜると自然なグラデーションに。



平塗りに黒などをグラデーションの方法で塗り重ねると、シックな雰囲気になります。

混色と  
グラデーションの  
塗り方がわかる

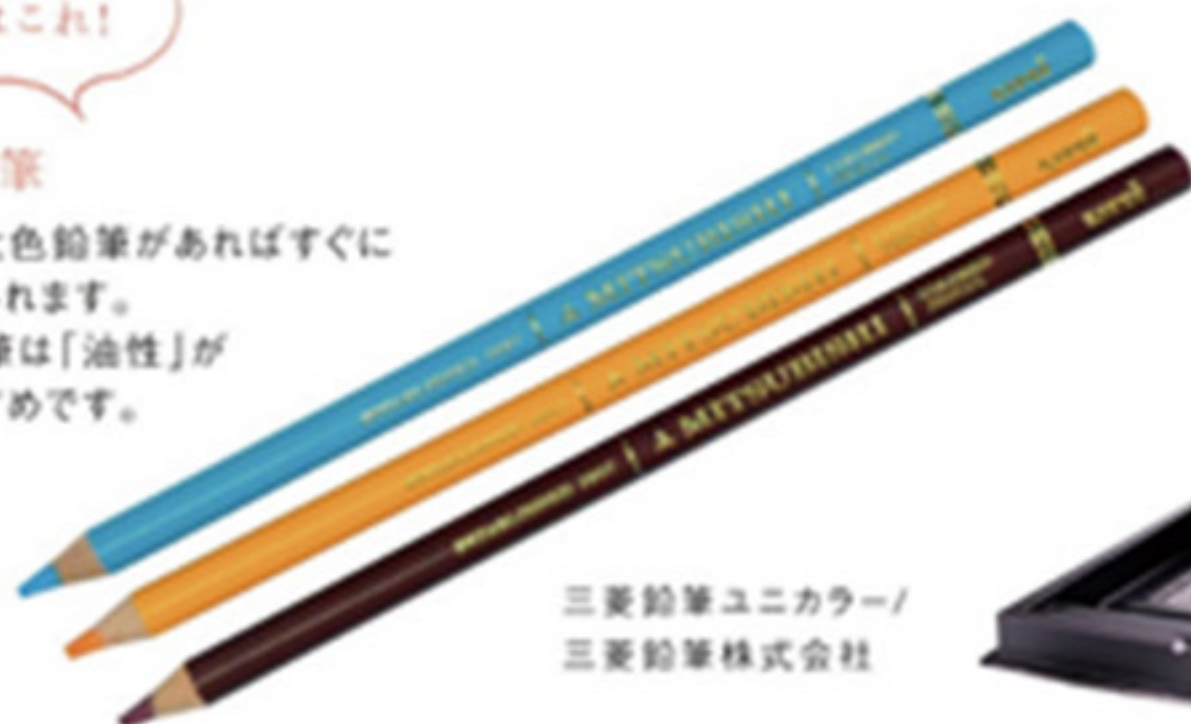


## 塗り絵に使う道具

まずはこれ!

### 色鉛筆

本書と色鉛筆があればすぐに始められます。色鉛筆は「油性」がおすすめです。



三菱鉛筆ユニカラー/  
三菱鉛筆株式会社

色鉛筆は、電動ではなく手でまわすタイプの鉛筆削りで。1~2回まわす程度で程よく削れます。



あと便利

### 消しゴム

いろいろなタイプを用意すると便利。練り消しゴムはぼかしたい時にぼんぼん叩いて使います。ペンタイプはハイライトやはみ出したところなどの細かいところに便利。



### ボンキーペンシル(白)

ふつうの油性色鉛筆よりも色のりがよく、濃く描ける画材。白を1本もっておくと、細かいハイライトやアクセントに使えます。

この画材もおすすめ

### 水彩毛筆

色鉛筆のほかに、毛筆タッチのカラーペンで塗るのもおすすめ。色を薄めると透明感のある繊細な仕上がりが楽しめ、また色鉛筆より速く塗り上げられます。水彩毛筆で塗って乾いてから、色鉛筆で影部分などに色を重ねると繊細な表現ができます。\*水彩画材なので、裏写り、紙が波打つ場合があります。



ZIGクリーンカラーリアルブラッシュ/株式会社興竹

### 基本の塗り方



水彩毛筆で塗る。



ブレンダーという無色透明のペンで色をのぼし、グラデーションにする。

水彩毛筆の詳しい塗り方がわかる













